

雜 錄

目 次

大東亞戰爭日記摘要	547
新刊雜誌參考記事	547
業界雜報	548

四月中開催工業品規格統一調査會 委員會並に其の議題	551
------------------------------	-----

大東亞戰爭日記摘要

- 4月20日 東條内閣大改造を斷行す。
外相重光葵、内相安藤紀三郎、文相岡部長景、農相山崎達之輔、
國務相大原唯夫。
- 4月24日 大本營報道部課長平出大佐山口多聞司令官及び加來止
男艦長最後の模様を血を吐く放送をなす。
北支第24集團軍々長孫殿英我が猛攻に耐え兼ね投降。
- 5月6日 5月5日12時30分東條總理大臣比島軍狀軍政狀
況視察のためマニラに着した旨發表。
- 5月11日 チャーネル陸海兩専門家を帶同して又華府へ。
- 5月12日 有力な米軍部隊アリューシャン列島「アツツ」島に上
陸を開始。
- 5月18日 大本營發表に據ると北支唯一の蔣直系軍として河南、
山西省境に抗戦を繼續して居つた第24集團軍々長上將龐炳勳は
その部下7萬餘（孫殿英軍を含む）を率ゐる國民政府に合體し大東
亞新秩序建設に邁進することゝなつた。
- 5月21日 午後3時大本營發表 聯合艦隊司令長官山本五十六大
將本年4月前線に於て全般作戰指導中敵と交戦、飛行機上で壯烈
なる戦死を遂げた。後任海軍大將古賀峯一。
- 5月23日 帝國海軍航空部隊はアツツ島附近で敵巡洋艦1隻を撃
破、驅逐艦1隻を撃沈、他の1隻に火災を生ぜしめた。
帝國海軍潜水部隊は5月12日以後アリューシャン方面に行動中
の敵艦艇攻撃を續行、本日までに敵戦艦1隻巡洋艦1隻を大破
し、艦型未詳のもの2隻を中破した。

新刊雜誌參考記事主題

暖房換氣冷凍衛生 17の3 昭18-3	
マライ方面視察談	井關 正雄 109
空氣迴轉式放熱器	117
工場の洗面器	124
發明 14の4 昭18-4	
特許發明令等實施令公布に際して	2
電力變壓器	15
イオン交換性合成樹脂の宣傳	草間、節次 47
土木學會誌 29の4 昭18-4	
流砂に關する研究	永井莊七郎 343
工業國策 6の4 昭18-4	
必勝の生産増強	川上 嘉市 33
生産増強戰方略私案	賀田 直治 38
窯業製品の戦時規格に就て	永井彰一郎 50
理化學研究所彙報 22の1 昭18-1	

電解研磨の研究 (I)	高橋 昇 1
一酸化炭素-炭酸ガス系及空氣-アセトン系の熱傳導度	石川 總雄, 八木 小虎 12
電子廻折に依る金屬腐蝕の研究	山口 成人 26
電弧熔接用自己燒鈍式被覆電極棒の研究 (I)	熊澤 尙文 59
鐵及鋼砒素分析方法に就て	關野幹次郎 71
市販の金屬ジルコニウム及びフエロジルコニウムの含む金屬狀ジ ルコニウムと化合物ジルコニウムとの定量法について	和田猪三郎, 石井 頼三 112
Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research, 40 January, 1943.	
カーボン評論 10の2 昭18-4	
メタリツクカーボン (I)	佐々木武尙 17
電刷子に就て (XXIII)	24
機械技術 31の4 昭18-4	
ポンプ其他軸流型翼附近の流動、特に渦流、 逆流現象に就て(IV)	田伏 敬三 174
防空工場の基礎知識 (I)	若月喜三郎 187
工場の能力に關する二三の調査	中村 信之 192
鑛工滿洲 4の4 康10-4	
滿洲鑛産資源の重要性	佐藤 戈止 3
決戦下の技能者養成に就て	野村 譽則 15
工業現勢 11の11と12 昭17-11, 12	
九洲鑛山學會誌 昭18-3	
高松炭鑛第一堅坑開鑿に就て	村松 金藏 103
本邦ニツケル鑛床の型式とその特徴 (I)	木下 龜城 128
ペンマン著「通氣論」(I)	中村 正雄 138
クロム鑛鑛々床生成に關する一考察	152
アラスカの地質鑛産に關する文獻	153
工學と工業 11の2 昭18-2	
ドイツの航空工業に就て	辻 猛三
燃料協會誌 22の245 昭18-2	
石油コークス製造法に就て	大野忠雄, 平野靜夫, 太田文太 143
斷熱煉瓦: ベライト	191
鑄物 15の1 昭18-1	
燃料協會・日本鑄物協會共同コークス懇談會	1
特大型鑄鋼品の製造に就て	中西 寛人 7
熔滓制御による高級鑄驗	須藤 幸治 14
鑄物用コークスの比較試驗	青木 康造 21
マグネシウム合金の性質に及ぼす熔解過熱の影響	27